

「高須小・中学校の高須町刀舞伝承の取組」

1 学校名

鹿屋市立高須小学校，鹿屋市立高須中学校

2 学年・人数

高須小学校 3・4年生 10人，5・6年生 3人

高須中学校 全校生徒 29人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

町民会館，各学校

(2) 発表の日時・場所（場所と日程は平成 26 年度実施分）

8 / 3 祇園祭（波之上神社境内），8 / 3（集落巡行），

9 / 14（高須中学校体育大会）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事や史跡について

(1) 名称

高須町刀舞（たかすちょうかたなまい）

(2) 由来

起源は詳らかではないが明治末まで波之上神社の神事として大晦日の夜，明け方まで実施されていた。現在は，祇園祭に行われている。

(3) 構成等

太鼓 2 人，露払い 2 人，神輿かつぎ 4 人，舞人 40～50 人，和歌朗詠者 2 人。

この中の，刀舞を小学生，（踊りの花形である）弓舞を中学生，そして長刀舞を高校生が踊ることになっている。

また，中学校の体育大会では，刀舞・弓舞に女子中学生も加わり，長刀舞・田神舞・鬼神舞を男子中学生が披露する。

5 保存会や地域との連携の具体

保存会が町内会の組織の一つとなっており連携がスムーズに行えている。

また，保存会会長が小中学校に出向き，踊りの意味や歴史，込められた願いなどについて講話をして，児童生徒の刀舞継承への関心と意欲を高めている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

(1) 高須小学校

- ・ 3・4年生の総合的な学習の時間に「刀舞」を学ぶ時間を設定している。
- ・ 保存会会長から「刀舞」の歴史について講話を聞いたり，踊りの写真やビデオを視聴したり，刀舞の道具を身に付けたりしている。

- ・ 学んだ「刀舞」の5種類の踊りを「浜っ子学習発表会」で披露している。
- ・ 5・6年生の男子児童は、毎年8月に行われる刀舞に参加している。

(2) 高須中学校

- ・ 教育課程の中に時間を設け、授業で実施している。(刀舞練習として)
- ・ 保存会会長から講話をいただき、生徒の『地域伝統芸能を自分たちの手で継承していこう』という思いを高めるとともに実感させている。
- ・ 職員も加わり、踊りを学んで実際に集落巡業に参加している。師弟同行で、踊りの指導者と一緒に生徒の指導ができるようにしている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等の写真）

(1) 学校内での発表等の状況写真



【高須小学校3・4年生の総合的な学習の時間】



【高須中学校体育大会の様子】

(2) 集落巡行の様子



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

(1) 高須小学校児童の感想

ぼくは、8月3日(日)の「おぎおんさあ」のときに、高須の郷土芸能「刀舞」を踊りました。膝を曲げて演技することが大変だったけれど、地域の方々が「がんばれ」と応援してくださったので、最後まで踊り続けることができました。「刀舞」には、5つの舞があるので、来年は、弓舞に挑戦していきたいと思います。

(2) 高須中学校生徒の感想

- ・ 体育大会という場で、高須の伝統芸能である刀舞を披露することができてよかった。(2年生女子)
- ・ (最後なので) 体育大会での刀舞披露を精一杯やって、これまでの先輩方に負けないくらい良いものしたいと思って踊った。(3年生男子)
- ・ 高須中学校は閉校するけれど、しっかりと踊って今日のことを忘れず、「高須中にいたんだ」ということをいつまでも心にとどめておきたい。(1年生男子)
- ・ これからも、高須の大切な伝統芸能である「刀舞」を自分たちの手で受け継いでいきたい。(1年生女子)

(3) 保存会長が高齢者だよりに載せた原稿

伝統芸能「刀舞」を最後の高須中体育大会で披露

高須第二若潮会

会長 立元 良三

高須町には、百年余り継承されている「刀舞」(かっなめ)があります。

この伝統芸能を継承しようとして高須中学校の体育大会で始めたのが平成十一年でしたので十五年目になります。

この舞がいつまでも継承されることを願っていましたが、生徒数減のため本年度で閉校されることになってしまいました。

創立六十八年の伝統を持つ、高須中学校の閉校記念体育大会での全校生徒による刀舞披露となりました。

舞の指導は、刀舞伝承保存会の皆さんで当たりました。二日間の放課後の二時間程の練習、刀舞と弓舞は女生徒全員が担当、始めての経験で不安でしたが見事に仕上げました。男子生徒は、長刀舞二人・田の神舞四人・鬼神舞四人で経験者もいて憶えが早かったです。



大会当日は全校生徒二十八人の着付けを女性部の皆さんが短時間で済ませました。

いよいよ本番、練習不足で不満なところもありましたが、観客に大きな感動を与えてくれ、閉校記念にふさわしい体育大会となりました。学校が無くなることは私たち高齢者にとっては、地域の文化の火が消えてしまっても寂しいことです。特に伝統芸能の中心となつて頑張つてくれた中学生の弓舞・刀舞の連絡や舞手の確保などができなくなり、少子高齢化の問題が人ごとでないことが現

実となり、刀舞伝承保存会にとつても大きな課題が残されることになりました。平成二十年鹿児島市で行なわれた「ねりんピック鹿児島2008」地域伝承館で、鹿屋市代表として高齢者の先導で刀舞を披露しました。あの時の中学生の弓舞は特に見映えがし観客に感動を与えてくれたことなどが思い出としてよみがえってきます。

元気な九十五歳

鹿屋市高齢者クラブ連合会
グラウンド・ゴルフ部

会長 中村 昭治

鹿屋市高齢者クラブ連合会グラウンド・ゴルフ部会では毎年「米寿」を迎えた方で大会に参加された方々へ高齢者賞を差し上げています。七月二十四日花岡地区で開催したグラウンド・ゴルフ大会に参加された宮蘭ヤエさんを紹介しましょう。

ヤエさんは今年の大会に参加された方では最高齢の九十五歳でとても元気な方で十月の初めに花岡地区理